

輸出事業計画

申請者名：群馬県漬物工業協同組合

品目：漬物

1. 輸出における現状と課題

(1) 背景

2021年経済産業省「経済構造実態調査」において群馬県の都道府県別漬物出荷額（果実漬物を含む）は全国2位である。漬物製造業は群馬県の重要な基盤産業であり、地場産業である。野菜果実の生育に適した農業環境と加工会社の努力によって国内需要を質・量の両面において支えてきた。

当組合は、群馬県内の漬物業界をサポートし、発展させるために有意義かつ綿密な事業方針に基づいて活動している。この方針は組合員企業の支援や地域内の連携を通じて、地域経済の発展と地域社会へ貢献している。漬物業界のリーダーとして、群馬県の伝統と未来を守り、豊かな地域を築くために尽力している。しかしながら、人口減少による国内需要の低下、生産者の高齢化による農地縮小、加工業者のコスト増大など産業基盤の崩壊が懸念されている。

国内需要が減少する中、海外市場への進出は地元の漬物業者にとって新規販路開拓への成長の機会となる。会員企業の輸出事業への参加を通じて新しい市場での需要に応じた製品やサービスの拡充や改良が行われる。地域内の漬物業者や関連企業は輸出に必要な手続きやノウハウ、市場調査などのサポートが提供され、海外展開の障壁が低減されることが期待できる。輸出が増加し、地域内の企業が国際市場で競争力を高めることで地域経済全体の発展が期待される。これにより、雇用機会の拡大や地域への投資の増加など、地域社会にポジティブな環境を創出する。こうしたことを踏まえ、当組合は2年前に“輸出推進委員会”を立ち上げ、漬物を海外にP Rするべく、組合員の輸出事業の促進に取り組んでいる。

また、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）シグネチャーパビリオン「EARTH MART」で「地球の食の未来をより良くするための日本発の食材・食品・技術」として「EARTH FOODS 25」が展示される。その選定の中で、野菜の漬物として「梅干し」が選定されたことで漬物の輸出には追い風となる。

(2) ターゲット国

【韓国】

本事業の輸出国の選定については、当組合の輸出推進委員会の委員長（株式会社コマックス）が長年に渡り他の品目で直接輸出を行っており、既に商流があるため、韓国とする。

課題

【生産・製造】

- ・高齢化による農地減少による原料減産の対応。
- ・人件費、エネルギー、調味料、副資材の高騰。
- ・韓国食品添加物規制に沿った商品かどうかの確認が必要。

【加工】

- ・韓国食品表示法に沿ったラベルの作成。

【物流】

- ・輸出コストの増大。
- ・韓国MFDS（食品医薬品安全処）への登録が必要である。
- ・放射性物質検査証明書や産地証明書の煩雑な提出作業がある。

【販売】

- ・韓国では多種多様な小売業形態（高級デパート、大型スーパー、中型スーパー、コンビニ、ネット通販）が存在しているので、どの消費者をターゲットにするのか選定が必要である。
- ・韓国は最も近い隣国であるため、日本食市場は同種の商品が乱立しており唯一無二の商品の創出が求められる。また、トレンドの変化するスピードが速いため、常に情報分析を行う必要がある。
- ・業務用食品においては、日本食を提供する店舗が多くあり参入するチャンスはあるが既に商流が完成している商品も多くある。低価格、高品質、独創的な商品の提供が必要となる。また、継続的取引ができ、与信が安定しているパートナーの選定が重要である。

輸出事業計画

申請者名：群馬県漬物工業協同組合

品目：漬物

2. 輸出事業計画の取組内容

課題解決に向けた取組内容

【生産・製造】

- ・安定的な原料確保に向けた加工業者、生産者、JA、全農、県関係機関との連絡会議を設け、具体的な施策の立案と実行を促す。
- ・人件費、エネルギー、調味料、副資材の高騰の抑制をはかる。組合員の成功事例紹介や講師による勉強会（補助金制度の活用、機械化での省力化、包材デザインの見直しなど）を実施する。輸出時の見積にはあらかじめコスト上昇を考慮した価格設定とし、安定した価格にて輸出を開始するよう留意する。
- ・韓国食品添加物規制に沿った商品かどうかの確認については、長年扱いの実績がある現地輸入会社に依頼する。

【加工】

- ・韓国食品表示法に沿った韓国語ラベルの作成については、長年にわたり実績のある現地輸入会社に責任を持たせた上で版下の作成を依頼する。必要に応じ情報提供はこちらからする。

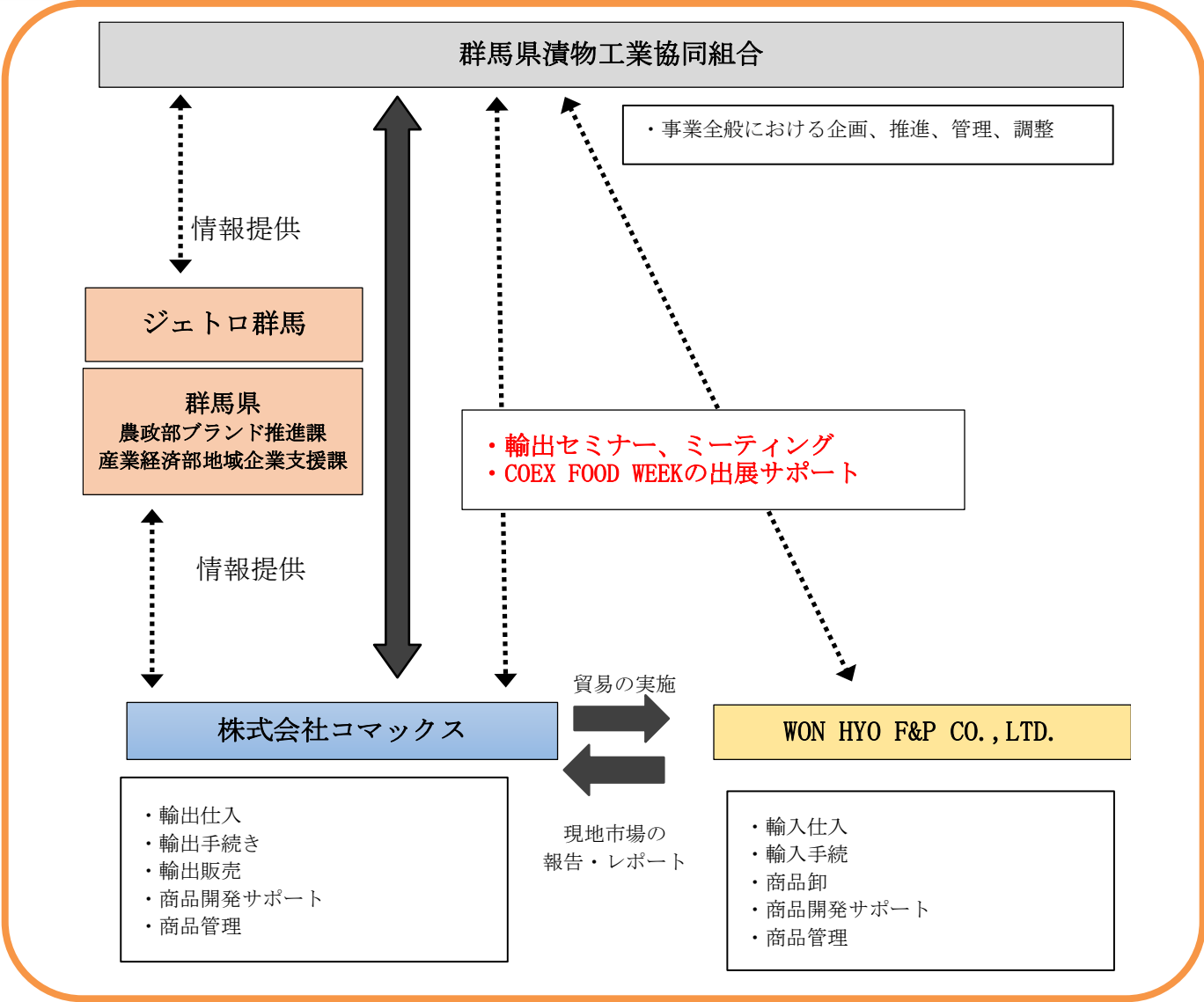
【物流】

- ・輸出コストについては、1回の輸出量をなるべくまとめて輸出の回数を減らすことでコストダウンを図る。
- ・韓国MFDS（食品医薬品安全処）への登録は長年にわたり実績がある現地輸入会社に確認と登録を委託する。
- ・放射性物質検査証明書や産地証明書の煩雑な韓国への提出は、実務の経験が豊富な当組合輸出委員長が行う。

【販売】

- ・現地視察と輸入業者との情報共有により、ターゲットを絞った販売戦略を立てて輸出を行う。また、販売実績のフィードバックを行い、販路の開拓や販売先の修正等を行って最適な販売実績を積み上げていく。
- ・価格、品質、ハンドリングがしやすく独創的な商品の開発を行っていく。当組合としては開発に必要な情報収集を行い組合員へ提供する。また、継続的取引ができ、与信が安定しているパートナーの選定を現地輸入業者と検討する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

対象品目：
漬物

		現状 (令和5年度)	目標年 (令和9年度)
群馬県	輸出額	-	20,000千円
	輸出量	-	67,000kg
	輸出先 国	-	韓国